

5. 故障について

ドリフターの故障は、しばしば乱暴な運転や、点検不整備によるものがあります。

3項の『ドリフターの取扱』・4項の『点検・整備』を再読のうえ、十分な理解をお願いします。もし故障が発生した時は、まずコンプレッサー・操作バルブ等の周辺機器に問題がない事を確認した後に、ドリフターの分解調査を始めて下さい。

原因が確認できましたら必要な部品の注文、修理要請をサービス窓口に申しつけて下さい。

5-1 故障の原因と対策

故障の状況	原因	対策・処置
ピストンが作動しない (回転しない)	(1) ホースの折れ・破損・エア漏れ (2) レギュレータ・コントロールバルブの故障 (3) 不適切な給油によるピストン・バルブの固着 (4) 内蔵部品の焼付 (5) 異物混入による内蔵部品の焼付 (6) スルーボルトの弛み・不均等な締付け (7) エキゾースト孔の凍結	(1) 修理交換 (2) 点検・修理・交換 (3) 分解整備・給油量の調整 (4) 点検・修理・交換・適切な給油 (5) 分解・所強・修理・交換 (6) スルーボルトの適正な締付け (7) エアフィルタの増設
ピストンは作動するが 回転しない 回転ムラがある 回転が遅い 回転力はない	(1) ポール・ポールスプリングの磨耗・破損 (2) ライフルバーの磨耗・軽い焼付 (3) チャックナット・ライフルナットの磨耗 (4) チャック・フロントの軽い焼付 (5) スルーボルトの弛み・不均等な給付 (6) ドリフター搭載時の取付不良	(1) ポール・ポールスプリングの交換 (2) ライフルバーの修理・交換 (3) チャックナット・ライフルナットの交換 (4) チャック・フロントの修理・交換 (5) スルーボルトの適正な締付け (6) 再度取付けて、調整する
穿孔速度が遅い 打撃が弱い 打撃ムラがある	(1) 作動圧力が低い (2) フィードカの不適正 (3) ビットの磨耗 (4) ブロー孔が塞がっている・エアが漏れている (5) Oリングの磨耗・劣化でエアが漏れている (6) コンプレッサーからのホースが長過ぎる (7) コンプレッサーからのホース配管径が小さい (8) ピストン・バルブ等の打撃機構の磨耗	(1) 適正な圧力で使用する (2) 適正なフィードカに調整する (3) ビットの再研磨・交換 (4) ブロー孔の掃除・修理・交換 (5) Oリングの交換 (6) コンプレッサーの能力を上げる (7) 配管径のサイズを大きくする (8) 点検・修理・交換
ドリフターから エアがもれる	(1) Oリングの劣化・磨耗 (2) 金具の取付不良 (3) 内蔵部品の磨耗	(1) 点検・修理・交換 (2) 適切な締付け (3) 点検・修理・交換